

和寒町まち・ひと・しごと創生総合戦略

—地方創生加速化交付金事業実績—

事業名	南瓜の里「和寒町」ペポカボチャプロジェクト
-----	-----------------------

【目的】

全国一の作付面積を誇る南瓜の産地として、培ってきた南瓜栽培技術を活かし、良質なペポカボチャの栽培技術を確立し、安定した生産体制を構築し、販路拡大に伴い雇用の創出やペポカボチャの付加価値を高め、農業者の所得安定による農業経営体の維持、農業の担い手の確保を図ります。

また、ペポカボチャの種の機能性等を検証し、健康・医療食品等への流通・加工の原料としてのトップシェアをめざします。

【概要】

- 特産加工品開発事業
- ペポカボチャ機能性検証事業
- 特産品PR事業
- ペポカボチャ栽培技術の確立、生産振興事業

【事業結果】

取組内容	<p>○特産加工品開発事業：大学との共同研究により、ペポカボチャの果肉を利用した加工品の研究、試験、試作を行い品質の保存性等を把握するとともに、利用方法についても検証を進めました。</p> <p>○ペポカボチャ機能性検証事業：大学との共同研究によりペポナッツ、ペポオイル等の機能性を検証し、ヘルシーDの認定に向けた検討、研究を進めました。</p> <p>○特産品PR事業：特産品開発、販売戦略について、専門家等からアドバイスを受けながら道内外の商談会や物産展へ参加しました。</p> <p>○ペポカボチャ栽培技術の確立、生産振興事業：町立の農業試験研究機関において、ペポカボチャの栽培試験を継続実施し、ストライプペポ研究会に対する栽培奨励補助も実施しました。</p>
事業効果	<p>特産品加工は製品としては、良質な試作品を作ることに成功しましたが、利用方法や今後の販売計画といった具体的な方向性については、今後も検討が必要となっています。</p> <p>ペポカボチャの機能性では、ヘルシーDの認定に向け継続した研究が必要であり、複数年で計画的に実施しています。</p> <p>特産品PRとして、物産展 道内13回(51日)・道外1回(3日)／商談会 道内7回(10日)・道外6回(9日)を実施してきています。道内では、ペポカボチャが浸透しつつあり、リピーターも増えてきています。道外ではまだまだ商品の知名度が低く、これからの販路促進に向けた取り組みが必要となっています。</p> <p>ペポカボチャの栽培については、まだまだ未知の部分が多く、これからも様々な栽培試験等を継続しながら、生産者との連携を図っていきます。また、生産が安定していない部分もあり、栽培奨励も生産農家の負担軽減として実施していきます。</p>
今後の展開	<p>ペポカボチャの機能性を明確にしながら、北海道産・和寒産といった安全・安心のブランド力を高め、更なる販路拡大を図ることにより、生産量の拡大や更には雇用増加につなげていくことが必要と考えます。</p>

【重要業績評価指標 (KPI)】

指標	H28	H29	H30	H31	進捗 (%)
ペポカボチャ種販売数量	4.2 t (8t)			(15t)	28%
商談会での成約件数	3件 (10件)			(20件)	15%
新規就農者数	2人 (2人)			(8人)	25%

※（ ）は指標値

事業名	小説の舞台「塩狩峠」を核とした観光振興事業
------------	------------------------------

【目的】

小説「塩狩峠」の舞台を拠点とし、点から線となるよう広範な観光ルートを構築することから、鉄道ファンや訪日外国人の訪問を促し、観光関連産業によるビジネスとしての雇用の創出をめざします。

また、塩狩峠と隣接した地域で結ばれている特性を活かし、近隣市町と連携して事業を実施し、交流人口の拡大を図ります。

【概要】

- 三浦綾子小説「塩狩峠」50周年記念事業
- 塩狩峠周辺活用検討事業
- 塩狩峠周辺環境整備事業
- 着地型観光推進事業
- 情報発信
- 農産物販売促進事業

【事業結果】

取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none">○三浦綾子小説「塩狩峠」50周年記念事業：上富良野町、三浦綾子記念文学館、旭川市と広域連携事業により、講演会、塩狩峠フェスタ、フットパス等を実施することで、町内外に三浦文学をとおしての観光PRを実施しました。○塩狩峠周辺活用検討事業：塩狩温泉跡地や塩狩峠周辺の有効活用を図るため、検討委員会を立ち上げ、観光資源として塩狩峠、夫婦岩、南丘森林公園の一体的な整備について検討し、提案書を提出してきました。○塩狩峠周辺環境整備事業：塩狩峠記念館周辺、一目千本桜、夫婦岩周辺の草刈、支障木の整理、桜の補植など周辺の整備を実施しました。○着地型観光推進事業：和寒町着地型観光推進協議会では、4回の会議とモニターツアーなどを開催し、町内外への観光と食のPRを実施してきました。士別・和寒・剣淵・幌加内着地型協議会が設立し、道内外での物産展、旅行会社の招へい事業、広域観光PRパンフの作成など広域での観光客誘致に向けた取り組みも実施しました。○情報発信：各種イベントの周知や和寒町の魅力を三角山放送局をとおして、札幌圏へ情報発信に務めました。○農産物販売促進事業：特産品や観光地の名刺台紙を作成し町外へのPR促進と、フリーペーパーや観光雑誌の掲載により、農産物PRや情報発信による知名度の向上を図りました。
事 業 果 効	<p>小説「塩狩峠」50周年記念事業では、講演会や塩狩峠フェスタで町内外から約160名の参加があり、観光地としての塩狩峠や三浦文学のPRなど、町内外の多くの方々に認知していただくことができました。また、記念事業の開催により、一定程度、塩狩峠記念館への来館者の増加につながりました。</p> <p>着地型観光では、町単独や広域での事業展開を進め、各イベントでの観光PRや観光素材の発掘をしてきています。また、素材の充実を図りながら、旅行商品としての売り込みを図ってきましたが、旅行会社の商品とはなっていないため、引き続き商品化へ向け取り組みを進めていきます。</p> <p>農産物販売促進と観光PRでフリーペーパー等に掲載することで問い合わせ件数等が増え各種イベントの参加者の増加につながりました。</p>

今後の展開	<p>道北の玄関口として、塩狩峠周辺や夫婦岩、南丘森林公園といったエリアを観光の拠点と出来るような整備を低コストで計画的に実施し、一体的な事業展開が必要です。</p> <p>また、各イベントでの観光PRや旅行会社への観光資源・素材の売り込みを町単独や広域市町村が連携して、進めていく必要があります。</p>
-------	---

【重要業績評価指標 (KPI)】

指 標	H28	H29	H30	H31	進捗 (%)
観光入込客数 (外国人)	50 人 (200 人)			(1,000 人)	5%
塩狩峠記念館来館者数	3,200 人 (5,000 人)			(6,000 人)	28%
塩狩エリア周辺観光モデルコース設定	0 本 (2 本)			(4 本)	0%

※ () は指標値